

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.10.No254

10月号

## 目次

代議員選挙について……………	1
特集 平成29年度北海道 赤レンガ建築賞受賞作品……………	2
道士会の動き 〔「北海道大会」にむけて 他〕……………	4
青年・女性の窓……………	6
〔No.88 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会〕	
Coffee Break……………	7
information……………	8

URL <http://www.h-ab.com/>

9月6日に発生しました北海道胆振東部地震において、尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

本会では、建築士の職能を生かした被災地支援活動に引き続き取り組んでまいりますので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

(一社)北海道建築士会 会長 高野 壽世

## 前回に続き信任投票で代議員36名が決定

(一社)北海道建築士会 代議員選挙管理委員会  
委員長 成田 茂利

### 代議員が決定しましたのでお知らせいたします

◆9月1日に正会員の皆様へ通知し行われました信任投票の結果、特定の候補者が当選人となることについて、選挙人からの異議が述べられなかったため、一般社団法人北海道建築士会代議員選挙規則第18条第5項により、当該特定の候補者について信任する旨の投票をしたものとみなし、9月18日をもって当該特定の候補者を当選人（代議員）に決めました。

#### ◆一般社団法人北海道建築士会代議員選挙規則（抜粋）

##### ○第18条第5項

選挙人が前項第3号の期間内（特定の候補者が当選人となることについて、選挙人が9月1日から18日までに書面で異議を述べることができる。）に特定の候補者が当選人となることについて異議を述べなかったときは、当該特定の候補者について信任する旨の投票をしたものとみなす。

#### ◆代議員一覧

支部名	代議員名	支部名	代議員名	支部名	代議員名	支部名	代議員名
札幌	池田 浩司	後 志	佐藤 裕	旭 川	岡田 光弘	網 走	塩川 顕児
札幌	井上 勝己	岩 内	上野 憲之	旭 川	米本 一恵	北 見	因 芳広
札幌	内海 純一	余 市	赤石 達也	士 別	土岐 浩二	美 幌	伊藤慶三郎
千 歳	吉川 政二	古 平	堀江 昭夫	富良野	林 誠	紋 別	高野 昭一
恵 庭	歳桃 勝幸	室 蘭	川田 寿之	上富良野	狩野 寿志	遠 軽	高橋 利己
北広島	関川 修司	苫小牧	堀 啓一	名 寄	遠藤 光博	宗 谷	片山 徹也
石 狩	佐藤 壽治	日 高	山下 聡	十 勝	岡田 英樹		
函 館	山内 一男	空 知	仁志 紘一	釧 路	香川 博		
檜 山	佐藤 久	北空知	小川 広見	根 室	山口 耐一		
小 樽	鈴木 道夫	留 萌	舛田 彰	中標津	佐々木 優	計	36名

#### ◆代議員の任期

平成30年代議員選挙終了日から平成32年代議員選挙終了日まで

平成29年度 北海道赤レンガ建築賞受賞作品

# 松前町立松前中学校

■建築主 松前町

■設計者 株式会社象設計集団

■施工者

〈小川・今井・佐々木特定建設共同企業体〉

株式会社小川建設

株式会社今井工務店

〈タマツ・森・阿部経常建設共同企業体〉

タマツ電機工業株式会社

有限会社森電設

阿部電気

〈池田・大明経常建設共同企業体〉

池田煖房工業株式会社

大明工業株式会社

〈西沢・森川・清水特定建設共同企業体〉

株式会社西沢工務店

株式会社森川組

清水建設

〈樺電・古海・真友経常建設共同企業体〉

樺電工業株式会社

真友電気

〈サトウ・原田・川合経常建設共同企業体〉

株式会社サトウ設備工業

株式会社原田設備工業

川合建設株式会社

■建築物の概要

所在地 松前郡松前町字博多265番地

主要用途 中学校

構造及び階数 木造1階

建築面積 5,218.30㎡

延べ面積 5,164.78㎡

竣工年月日 平成27年8月31日



□企画の特徴（地域との関わりなど、特に配慮した点）

松前中学校は、昭和44年に町内の3校を統合して誕生した学校で、建替え前の旧校舎は昭和45年に建設され、築40年以上を経過し老朽化が著しいことから、平成25年に改築に着手しました。改築後は、松前町内で唯一の中学校となることから、町のシンボルとなるよう、また様々なイベントなどでも中心的な役割を担う建物になるよう協議を重ね、その中でも特に強くこだわったのが、地域材である松前杉をふんだんに使用した「地材地消」の学校づくりでした。構造材としての利用はもちろんのこと、集材材として、また造作材として内装材や外装材、そして生徒が使用する机の天板までと、ありとあらゆるところに松前杉を利用し、温もりのある学校づくりを目指しました。

□設計の特徴

今までの学校という概念にとらわれず、全く新しいタイプの中学校を目指し設計を進め、基本的に4つのエリアに建物を分けて構成しました。それぞれのエリアは渡り廊下でつながれ、回廊を思わせる廊下からは、どこからでも中庭へ出られるようになっています。また全ての建物は木造在来工法で建てられ、大断面集成材などを使用して建てられる大規模木造建物群とは、一線を画す構造となっており、特に体育館棟のトラス構造は、この松前中学校を象徴する空間となっています。

また、「地材地消」以外の特徴として、ICT機器を活用したICT教育を推進する無線LANの整備や、非常時に避難施設としての役割を担うという観点から、食料や毛布等を備蓄するのはもちろん、トイレの水を確保するための井戸や大型の自家発電装置を備えた設計となっています。

□施工の特徴（工法の特徴、施工上の配慮、工夫等）

「地材地消」にこだわった松前中学校ですが、実際に建設に携わる人々も「オール松前」の名の下ほぼ全ての業種で地元の人々の協力がありました。特に、普段から木造在来工法に精通している大工さん達には、ほぼ着工から完成までお世話になり、大変ご苦労を掛けたことと思います。また施工中には、骨組みが立ち上がった段階で現場見学会を開催するなどして、松前杉を使用した「地材地消」の取り組みをアピールしました。

□完成後の地域への貢献度等

松前中学校が完成した後は、音楽鑑賞会の開催を始め、レバンガ北海道で活躍するプロバスケットボール選手を招いてのバスケットボール教室など、様々なイベントを開催するなどして、建物の有効活用を図っています。また、平成29年度には全面人工芝のサッカー場を含むグラウンド整備工事が完成することから、さらなる地域開放を含め、今後の展開を検討しているところです。



## 審査講評

松前町立松前中学校は、国重要文化財である福山城（松前城）本丸御門・龍雲院・法源寺山門、国史跡である福山（松前氏）城跡・松前藩主松前家墓所など往時の松前氏城下町の西、字名が博多の地にあり、昭和45年に町内の3校を統合して開校した松前中学校を改築した町唯一の中学校である。全面人工芝をもつグラウンド越しに日本海を一望できる敷地に、既存施設の解体工事と新築工事を並行させて竣工させた。教育の場としての「学校」だけではなく、生活の場となり、環境意識を育み、地域施設となる町民みんなの学校に、加えて町のシンボルに、との将来への願いが城下町としての和風の意匠ではなく、洋風を感じさせるデザインを生んだのであろう。

平成23年9月の耐力度調査結果を踏まえ、施設整備基本構想と改築基本構想の策定、設計者選定プロポーザルの実施、基本設計案の町民ワークショップと地域説明会の開催、平成25年8月の第1期工事着工、平成27年8月第2期工事竣工まで、松前町と松前町民、設計者、施工者の良好な関係性が窺われる。町有林の松前杉（道南杉）を使用した在来工法による木造平屋建ては、道内企業による製材・集成加工・プレカットの流通と地元の施工者の参入を促している。これは、材料調達からの生産、今後の維持管理、解体までのライフサイクルコスト、二酸化炭素の抑制を考えれば、公共施設整備の適切な方法であろう。

御髪山からの南勾配の敷地南にグラウンド、北に校舎群がある。西の体育館・武道場・音楽室は、木目が透けて見える一掃塗り、隣接して連動し住民も使い易い配置である。東には職員室・ランチルーム・図書室、学校給食センターがある。グラウンドを見渡せる職員室は、開放感に溢れ、生徒の見守りと多目的な活動への対応も可能である。ランチルームはラチス状の耐力壁と洋小屋の架構が創り出す木の香漂う落ち着いた空間であり、学校給食センターは町内小学校の給食も担っている。体育館とランチルームに挟まれた中庭は、地元の漁師小屋をイメージしたカラフルな突出部をもつ立面に囲まれ、植栽と自然の緑、雪の白とも色合いが調和している。中庭に面する廊下を挟んで北側に教室・理科室・調理室、南側にワークスペース・教室・特別支援教室・保健室がある。廊下から中庭に突出した部分は、アルコール・小会議室・放送室・生徒会室に充てられ、町が推進している書道のための水場もある。トイレはブースごとに間仕切り壁やタイルの色を違わせ、町内の屋号をくり抜いたシェードを使うなど細部にわたる配慮がみられる。武道館・音楽室・ランチルームはキングポスの三角屋根、体育館はトラスを組んだヴォールト状の屋根で南北を棟にしている、南側立面のアクセントとなるだけでなく、背後の山並みの稜線と調和している。また、ラチス状の耐力壁も漆喰の海鼠壁にもみえる。建築面積は5000㎡を越えているが、平屋建てにすることで木造が可能となり、天窗と南側からの自然採光を取り入れることができ、歴史的環境をもつ海沿いのまちにある明るい学び舎を生み出している。

以上の点を踏まえ、「松前町立松前中学校」は、地域社会の発展に貢献する創造豊かな建築であり、建築文化の振興や地域に根ざしたまちづくりに貢献し、意匠的にも優秀な建築であることを評価して平成29年度の北海道赤レンガ建築賞を贈る。

北海道赤レンガ建築賞 審査委員長 羽深 久夫（札幌市立大学デザイン学部 教授）

# 第62回建築士会全国大会「北海道大会」に向けて

大会実行委員長 山内 一 男 (函館支部)

## ○大会に向けて

第62回建築士会全国大会「北海道大会」函館開催まであと1年となりました。

大会実行委員会と函館支部会員との会議開催が重なるにつれ、緊張感と責任の重さを感じております。

大会テーマを公募決定し、大会ロゴマークが選定されました。

限られたスペースでの大会に向けて、大会式典会場、セッション会場、昼食、受付、大交流会、控室などのレイアウトや運営の検討、北海道、函館ならではのエクスカッション、食材の提供など万全にはまだまだ準備することが山積みです。

大会当日を無事に迎えられるよう取組んでおります。

北海道建築士会の会員のサポートが必要になりますので、当日は運営にあたって役員を含め人員協力をお願いする次第です。

2019年は、元号が変わり、平成から新しい年号での全国大会です。

建築士の資格取得制度も変わり、まさしく「Re」スタートなのです。

大会を通じて、全国の建築士が地域に必要な地場の新たな建築士として、再スタートとなる大会にしたいと考えています。

## ○大会実行委員会での検討状況

昨年、大会テーマが決定されてから、その後、大会の具体的な開催計画の検討を続けており、大会実行委員会の開催は現在まで6回を数えています。

函館支部においても支部総務委員会をはじめ、支部で設置した拡大連絡会議を幾度となく開催し様々な検討整理を行っております。

全国大会の規模は、近年では3,000名から4,000名近くの参加者となっています。



大会実行委員会 (函館市にて)

北海道大会も3,000名を超える参加者登録を見込み、全国の会員の皆様と懇親を深める大交流会は1,000人を超えるのではといった規模で検討を進めております。

会場となる函館アリーナは最大収容数5,000人と十分なキャパはあるのですが、大会式典や記念講演、大交流会など様々な行事の実施にあたり、その時間帯や参加者数を見込んだ会場の設定に頭を悩ませているところです。

一昨年は大分で、昨年は京都で全国大会が開催され道内からも多くの方が参加されましたが、他府県の方々からは「是非、北海道大会に参加したい」との声を多数聞いており、北海道への特に「食」に対して、また「エクスカッション」に対しても高い期待が寄せられていることが感じられます。

その期待に応えるべくよりよい大会となるよう取り組んでいきたいと思っております。



大会のテーマ・ロゴ案検討の様子

## ○今後の進め方など

引き続き北海道大会の開催実施計画の作成を進めていくなか、まずは今年、埼玉建築士会主管により開催される全国大会「さいたま大会」で、全国から参加された会員の皆様に配布して、北海道大会の開催内容をお伝えする「案内チラシ」について、伝える内容はもとよりロゴや図案なども含めて検討整理し作成に取り組んでいきます。

そして、来年の連合会誌「建築士」4月号に、「北海道大会への“いざない”」を掲載し、全国の会員の皆様に対して北海道大会のご案内をしますので、大会の主なスケジュール、会場案内、会場行事や地域交流見学会(エクスカッション)の紹介、参加申込方法、宿泊案内等について、大会実行委員会や支部の拡大連絡会議において詳細事項の検討、整理を行ってまいります。

## 「さいたま大会」に参加される皆様へ

本年開催の第61回全国大会「さいたま大会」では、大会式典及び大交流会において北海道建築士会は次期開催地アピールを行います。

さいたま大会に参加される皆様にはステージへご一緒に登壇していただき、北海道建築士会の会員全員でアピールしてまいりたいと思いますので、大会に参加の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

### ・「さいたま大会」開催概要・

と き：10月26日(金)  
 ところ：大宮ソニックシティ  
 さいたま市大宮区桜木町1-7-5  
 大会式典 15:00~17:00  
 大交流会 17:30~19:20

### ☆次期開催地アピールについて

当日、式典会場では北海道建築士会参加者の席が配置され、次期開催地アピールの際は埼玉建築士会の誘導に従い、ステージへ登壇することとなっています。

アピール方法は、北海道及び道南、函館についてのPR動画を上映し、高野会長からご挨拶並びに北海道大会への“いざない”のメッセージを発信していただきます。そして皆さんと一緒に北海道大会開催のアピールを行っていただくこととしております。

## 第62回建築士会全国大会北海道大会開催計画

- 開催日 2019年9月21日(土)
- 開催場所 函館市「函館アリーナ」
- 主催 公益社団法人日本建築士会連合会
- 主管 一般社団法人北海道建築士会

### ○大会概要

- 第1日目 9月20日(金)  
記者会見、連合会理事・士会長合同会議、建築士フォーラム、全国ヘリテージマネージメント協議会総会
- 第2日目 9月21日(土)  
大会式典、記念講演、大交流会、各セッション、全国ヘリテージマネージャー大会、各種パネル展示
- 第3日目 9月22日(日)  
地域交流見学会(エクスカッション)

### ○大会テーマ 「Re(リ)+(クロス)」

～明日(みらい)のまちに輝きを～

#### 【テーマの趣旨】

「Re+」は、「再び・更に・何かを加える」だけでなく「未来に交錯、融合・発展など」、様々なものが「クロス」していくことで、北と南、地方と都市圏、日本と外国、様々な文化や歴史が交錯するなか、それぞれを尊重し、ときには複雑に絡んだ事象を紐解き、組み直しながら、それらを通じて輝きのある未来の創造へ絶えず想いを巡らせようという趣旨としています。

## 第30回「建築士の日」記念 青森県大会に参加して

副会長 鈴木 基伸



青森県建築士会のお招きを受け、7月28日青森県八戸市を訪れました。

前日の連合会の理事会、前々日の同じく正副会長会議に出席した高野会長とJR新幹線八戸駅で待ち合わせ、会場の八戸グランドホテル

へ向かいました。青森県建築士会とは互いに大会の来賓として訪問しあう関係であり、仲の良い隣人でもあります。本会では道内4ブロックの持ち回りで全道大会が実施されておりますが、青森は10の支部のローテーションで大会が催されます。

今年は第30回「建築士の日」記念大会と銘打ち、三八支部の担当で八戸市において開催されたところで、大会テーマは〈変わりゆく氷都八戸のまちづくり〉。大会のプログラムは、翌日に表彰式がある小学生の絵画展示(市内の別会場、テーマ：こんなおうちに住んでみたい)、見学会、基調講演、式典、懇親会の進行となっており、私たちは日程・時間の制約もあり、小学生の作品展示を拝見したのち式典に臨みました。

式典では地域実践活動の報告もあり、十和田、三沢、南黒の三支部がそれぞれの地域でのまちづくりなどの活動が、画像・パワーポイント等を通して報告されました。

式典終了後は懇親会にも出席しましたが、過年度全道大会(釧路大会)でお会いした顔ぶれも散見さ



大会案内板と小学生の絵画展示

れ、懐かしいひと時でもありました。

また来賓の小林八戸市長は、日頃の建築士会との協力関係に謝意を述べられた他、今夏の高校野球甲子園大会に地元八戸学院光星が県代表校になったことで、終始上機嫌であったことも印象深く感じたところでもありました。

ただ、同じ県内の強豪校青森山田高校を擁する津軽地方の出席会員は少々浮かない様子だったのがこれまた印象に残っています。

祝宴も終わりに近づいて、次年度大会の開催が決定している南黒支部の開催アピールがあり、当該支部長の意欲と意気込みが会場に伝わりました。そして又、本会の大会運営にも情景・思いが重なり、志を同じくする建築士たちの所作や行動に感ずるところ多く、心温まるひとときを過ごしました。

八戸市は県の中核都市であり、漁業及び工業が盛んな町として発展してきました。大会のテーマにもあるように、今、この町では歴史ある文化・スポーツ・商業施設が次々と生まれ変わろうとしています。具体的には、屋内スケート場や美術館などが現在施工中、又は実施設計中であり、今大会では特別企画として『八戸今昔物語・建築フォーラム』が企画され、これらの建築物の設計者を招き、地元市民に未来の八戸を語ってもらう機会が設けられていました。

観光案内にあるように、この町には岸壁の朝市と迷路のような楽しさ満載の横丁文化が栄え、まさに活気があふれる港町。この度はそれらを満喫することかなわず心残りでしたが、本会会員の皆様には機会があれば是非この街を訪れることをお勧めします。



懇親会フィナーレ  
八戸市長と共に



平成30年度第28回全国女性建築士会連絡協議会(高知)  
**「未来へつなぐ居住環境づくり」**  
 ～一周おくれで先頭に伝統こそ  
 最先端～に参加して  
 岩崎 美乃 (函館支部)

『ツクールに  
 コメール思い』  
 立花智亜喜 (網走支部)

7月7日道東Bブロックの活動として津別町活汲にある「TSKOOL (ツクール)」の見学会を行いました。ツクールは廃校となった旧活汲小学校の校舎を活用して6月上旬にオープンしたショールームで、木材加工を行う榊山上木工にて製作された家具や雑貨等が展示、販売されています。ツクールという名前は、「スクール」「オホーツク」「津別」「ものづくり」等を連想させることをイメージして付けられたことや、津別町「開基の場所」である活汲の地から、美しい暮らしのスタイルを「発信していく」というポリシー等について、同社山上専務からご説明いただきました。

現地に到着するなり、想像以上の迫力かつ着落きのある外観に思わず感嘆してしまった私たちですが、中に入ってさらに感嘆。道東の田舎の片隅に、こんなハイセンスな展示施設があったなんて。そこにある家具や雑貨等は、自分が都会にいるのではないかと錯覚するような空間を作り出していました。

私は某高級家具店を思い出しながら展示品を見ていたのですが、その某店と決定的に違って感じたのは、「気軽に来られる雰囲気」「製品のあたたかみ」でした。また、家具は人の住まい方を研究し尽くしたディテールとなっているので、特に椅子は腰掛けたとたんに

気持ち良すぎて立ち上がれなくなるメンバーが続出していました。

色とりどりのファブリックを用いた椅子、大きな一枚板を用いたテーブル(70万円のテーブル(非売品)なんてものも!)、レトロ&モダンなイメージの照明器具、どれをとってもため息がでる逸品で、「これを我が家のリビングに、あれをダイニングに・・・」などと想像をかきたてられている内に、あっという間に1時間が経っていました。

品質なみの価格でありながら、決して手の届かない価格でもない、絶妙な価格設定でしたので、いつか自分のご褒美に、ロッキングチェアを買いたいなあ(でも絶対に子供と猫に取られるなあ)と思いながら、いつ以来かわからないオシャレな時間を過ごすことができました。



TSKOOLの外観



家具展示コーナー

7月28・29日の参加報告です。  
 ■初日の講演会は、講師に山本長水氏を迎え、高知県の森林は全体の84%あり、木材の理想的な使い方ということで、まず「地元の丸太を使った家づくり」で、丸太ばかりで家を建てた事例紹介がありました。\*間引いた丸太を短ルートで使う。木を丸太のまま使うと構造的にも安定し、丸太のカーブが持っている自然の良さが有る。\*屋根材：耳突き板、めん皮板本実の野地板を厚めに引いて耳のカーブを美しく出す。\*外壁：土佐漆喰、高知ヒノキ ヒラ角木目二段重ね。ヒノキの柱角四寸二重 \*土佐漆喰：スサに藁を発酵させてグリーン調にし、天日さらしの紙を使用し小屋裏を設けて木材を隠さず、節も楽しむ。

もう1つ「県立競技場の屋根」の大スパン梁構造の紹介では、近年木造建築が忘れられつつあり、危機感を覚える。地域の皆様が木造建築の伝統を工夫して使うこと。職人の技術も使う事。使わないと、優れた技術が後世に残っていかないとお話しされていました。  
 ■二日目はE分科会「自治体連携とまちづくり」に参加し、徳山支部 村越千幸子さんの『まち塾の活動』の内容を伺いました。



講演会(全建女)

## 東西アスファルト事業協同組合からのご案内

専務理事・事務局長 石川 淳一

東西アスファルト事業協同組合様には、今年度も本会の地域貢献活動にご支援をいただき、感謝申し上げます。この度、皆様からの防水工事に関わるご質問やご相談にも対応していただけることとなりました。

つきましては、以下のとおり北海道地区に於ける組合員並びに指定工事店をご紹介しますので、防水工事に関わるご要望、お問合せがありましたら、どうぞお気軽にお声掛け下さい。

会社名	住所	電話番号	備考
エスアイ工業(株)	稚内市萩見2-6-15	0162-33-6407	組合員
北海化学防水(株)	釧路市美原2丁目11-4	0154-36-3458	〃
(有)山建産業	帯広市空港南町南10線西34番地1	0155-49-1111	〃
(株)アクアグレース	札幌市豊平区月寒西四条6-1-18	011-855-2621	〃
(株)札幌三星	札幌市西区八軒10条西6丁目1-46	011-618-3255	〃
(株)綜合防水工事	札幌市北区拓北七条1丁目 1-26	011-771-8834	〃
(株)濱建	札幌市中央区北三条東 5丁目5番地	011-261-5676	〃
北開技研工業(株)	札幌市豊平区月寒東三条15-6-35	011-851-6711	〃
ビルドプロテック(株)	札幌市清田区美しが丘二条2-1-2	011-884-2885	〃
東興アイテック(株)	函館市西桔梗町862番地5	0138-49-8571	〃
第一工業(株)	北見市南町1丁目8-33	0157-23-4155	指定工事店
(株)シーファ	旭川市忠和6条7丁目2-9	0166-73-3310	〃
ナカイチ防水(株)	釧路市鳥取北4丁目8番18号	0154-51-0886	〃
(有)速水防水工業所	釧路市芦野1-23-20	0154-37-6446	〃
(株)シオン	札幌市白石区菊水元町1条1丁目4-34	011-873-4151	〃
(株)ライズアイテック	札幌市北区篠路町上篠路257-42	011-788-4159	〃
田島ルーフィング(株)	札幌市中央区大通西6-2-6 三井生命札幌大通ビル3階	011-221-4014	事務局

### 苫小牧支部 ☆2018年から2020年に向けて☆

副支部長  
堀 啓一



日頃より一般社団法人北海道建築士会の皆様、各支部の皆様におかれましては、私共苫小牧支部に際し大変お世話になっております。心より御礼申し上げます。

2018年は1月に通常総会が開催され本年度の各事業が可決されスタートいたしました。そうした中、苫小牧支部長様のご逝去されるという悲しい出来事があり本会として大変な財産を失ってしまいました。しかしながら、前支部長のご

冥福をお祈りしながら臨時総会を経て新支部長のもと、再発進いたしました。

昨今、本会そして各支部において会員の拡大並びに人材の育成、次世代への継承と様々な議題をこなされていると考えます。そうした中、本誌を手にされている方々も御承知かと存じますが時代の流れと共に建築物に要する更なる省エネ対策、環境対応といった高度な課題が私共の建築士会へ導かれております。2020年に向けて国・建築士会・建築主等が省エネに際し同じ方向を向くための施策を模索しています。

このたびの国交省からの依頼に

て平成28年度に建築又は確認申請済みの300㎡以内の住宅をランダム選出した物件に対する仕様の調査依頼を受け、私共戸惑いのまま、調査し、先日終えた次第であります。この調査に対する分析、評価がこれから報告されますが、この調査の進め方につきましては多々意見があると考えます。そうしたものを考慮いたしますと施策をするための施策をまずは各関係者様と議論し進められ、地球規模の大切な取り組みの一助ですので多くの皆さんと準備していくべきと私的に思案するところでございます。ありがとうございます。

### 中標津支部 建築士の日記念ベンチ製作及び会員交流会活動について

副支部長  
藤島 智



中標津支部は、建築士の日の社会貢献活動として毎年事業を行ってきました。構成4町持ち回りで、植栽を行ってきましたが、植栽場所が不足してきた事と、管理が難しく成長を確認出来ない等の理由で、2012年の中標津町開催から、無垢材によるベンチを4台製作し寄贈する事業に変更して継続しております。2016年の中標津町での製作で2巡目に入り、協賛の方々の協力をいただき、当支部広報・

交流委員会の担当事業として定着しています。最初は、材料の調達、加工から手探りの状態でした。又、木材の保護塗料の乾燥状態が思わしくなく、後日に贈呈する事もありました。それ以降は、防腐剤注入無垢材に変更し、その場で贈呈できる体制となりました。ベンチの形状も、背もたれが無いタイプのみでしたが2017年の標津町での製作の時には、寄贈場所の高齢者住宅の要望に応え、背もたれ付きのタイプを2台製作し、ベンチ2台と合計4台を寄贈。大変喜んでいただきました。製作時間も年々短縮され、今年の羅臼町開催では少人数でも小1時間で完成するま

でに。瑕疵なく末永く愛用いただけるベンチを作るべく、支部長を先頭に、会員一同努力しております。このベンチが、建築士会の認知度を高め、建築士の地位の向上に寄与するものと信じております。最後になりましたが、その後の参加会員によるBBQが最大の楽しみでもあります。ノンアルコール麦酒で乾杯！開催町の特産品に舌鼓を打ちながら、毎回交流を深めています。因みに、今年の羅臼町は身厚のホッケの開きや海産物が充実。「羅臼焔端」は、最高でした。来年は、別海町です。会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告（9月）

- ◆まちづくり委員会WEB会議  
 〈開催日〉9月1日(土)  
 〈議題〉1) 全道大会(土別大会)分科会 他
- ◆第3回あり方検討会議  
 〈開催日〉9月19日(水)  
 〈議題〉1) 北海道建築士会の問題の検討 他
- ◆第4回理事会  
 〈開催日〉9月20日(木)  
 〈議題〉※議題はすべて承認済み
  - 1) 平成30年一般会計収支予算の補正及び流用(案)
  - 2) 平成30年全国大会特別会計収支予算の流用(案)
  - 3) 平成30年一般会計事業報告及び収支状況報告(7月末)
  - 4) 平成30年特別会計事業報告及び収支状況報告(7月末)
  - 5) 平成30年全国大会特別会計事業報告及び収支状況報告(7月末)
  - 6) 第43回全道大会(土別大会)の決意文(案)
  - 7) 第44回全道大会(網走大会)のテーマ(案)
  - 8) 平成31年一般会計事業及び予算編成
  - 9) (一社)北海道建築士会運営規則の改定(案)
  - 10) (一社)北海道建築士会事務局職員就業規則細則の改定(案)
  - 11) (一社)北海道建築士会契約職員就業規則の改定(案)
  - 12) (一社)北海道建築士会代議員選挙規則の改定(案)
  - 13) (一社)北海道建築士会バナー広告掲載規則の制定(案)
  - 14) 西日本豪雨災害に係る義援金の対応
  - 15) 胆振東部地震の発生により被災した会員の会費免除等
  - 16) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)
- ◆第2回被災地応急支援委員会  
 〈開催日〉9月29日(土)  
 〈議題〉1) ネットワークの登録者増強と整備 他

## 編集後記

6日未明、突然の出来事に大変驚きました。改めて、台風21号と胆振東部地震において被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。今回の地震での一連の報道等で被災地の映像を見ていたのですが、地盤変動による建物の傾きはあるものの、揺れが起因となる倒壊があまり見られなかった印象がありました。漠然と北海道の建物は頑丈と感じていたのは正しかったのでしょうか。半ば他人事のように感じていた震災が身近で起こり、建築士としての職責を強く感じました。

情報委員会 委員長 齋藤 勝哉

### 道本部の主な行事予定（10月）

- 5日(金) 全道大会青年サミット
  - 6日(土) 全道大会(土別)
  - 7日(日) 女性建築士の集い
  - 14日(日) 一級・木造建築士設計製図試験
  - 20日(土) 第3回景観まちづくり塾
  - 26日(金) 全国大会(埼玉)
- ※延期された二級建築士設計製図試験は11月4日(日)実施となります。

### 関係機関等会議参加予定（10月）

- 22日 建築設備士試験審査会議(東京) 高野会長出席
- 25日 日本建築士会連合会理事会 高野会長・吉木相談役出席

## 講習会のご案内

### 監理技術者講習

10月19日(金) 札幌市 10月29日(月) 旭川市

### 建築士定期講習

10月9日(火) 苫小牧市

### 応急危険度判定士認定講習会

10月24日(水) 札幌市

### 建築士による住教育出張講座

北海道南幌高等学校 10月5日(金)  
 北海道士幌高等学校 10月22日(月)  
 北海道函館水産高等学校 10月30日(火)・31日(水)  
 北海道北見工業高等学校 10月19日(金)

### 防水技術セミナー2018

【主催：東西アスファルト事業協同組合】  
 10月4日(木) 函館市 10月23日(火) 帯広市

### CPD認定プログラム(9月認定)

- ◆第3回景観まちづくり塾  
 〈日程及び会場〉10月20日(土) 10:00~18:00  
 小樽市公会堂(小樽市)
- 〈単位数〉 4単位
- 〈上記プログラムに関する問合せ先〉  
 (一社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076

情報委員会委員長/齋藤 勝哉  
 副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁  
 委員/熊谷 智・柏倉 晶憲  
 村山 賢司・片岡 哲二

### 北海道建築士 No.254号

印刷 平成30年9月/発行 平成30年10月  
 編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
 大五ビル  
 電話 (011) 251-6076番  
 URL <http://www.h-ab.com/>  
 印刷 株式会社 正文舎  
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
 電話 (011) 811-7151番